

# 【岡山県倉敷市】地場の繊維産業を核とした「児島ジーンズストリート」による商店街の賑わい再生

- ・地場の繊維産業を核に、国産ジーンズ発祥の地であることから、シャッター通りとなっていた「味野(あじの)商店街」を「児島ジーンズストリート」と名付け、空き店舗に地元ジーンズメーカーを誘致。
- ・「ジーンズの聖地」を目指したまちづくりを行うとともに、魅力ある雑貨屋や飲食店等が新規出店することで、観光地としての魅力が高まり、海外からも含め年間15万人を超える観光客が集まる商店街へと再生。

## 主なソフト・ハード事業

### ○ジーンズの聖地「児島ジーンズストリート」

- ・児島地区の中心にある味野商店街において、一日平均の歩行者が20人ほどのシャッター通りとなる中、危機感を持った商店街や地元ジーンズメーカー、近隣企業等が「児島ジーンズストリート推進協議会」を設立(H21年)。
- ・味野商店街の通り約400メートルを「児島ジーンズストリート」と命名し、空き店舗へ地場ジーンズメーカー等を誘致。当初の2店舗から現在は30店を超えるジーンズ店が集積。
- ・若者の起業により雑貨店や飲食店等が新規出店するなど、商店街の魅力が向上。



児島ジーンズストリート



児島ジーンズストリートマップ

### ○出店者のまちづくりへの参加

- ・新規出店者にまちづくりを担ってもらうよう、地域諸団体への加盟や団体事業への協力、定休日以外は毎日開店すること等を出店規約で定めている。

### ○将来出店を目指す若者の人材育成

- ・倉敷市内の専門学校のデニムジーンズコースへの講義や実習の支援
- ・児島ジーンズストリートのイベント時における学生のボランティアでの参加

### ○まちのデニム化

- ・市において、商店街の通りのアスファルトをデニムの色合いにする「道路のデニム舗装」を実施(H26年)。
- ・地元のバスやタクシー等の交通事業者が協力し、外装がブルーで、シートやカバー等の内装にデニム生地をあしらった「ジーンズバス」(H18年～)やジーンズデザインの「ジーンズタクシー」(H24年～)を運行。
- ・JR西日本においても、児島駅に「ジーンズステーション 児島」の愛称をつけ、階段や窓、壁等をジーンズ柄でラッピング(H27年)



JR児島駅階段



ジーンズバス

児島ジーンズストリートにおける新規出店数

H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1店	5店	4店	4店	6店	7店	3店	4店

### ≪官民協働≫

- 【民】児島ジーンズストリート推進協議会による店舗誘致
- 【官】店舗改装費・家賃補助等の空き店舗対策事業

### 今後の取組

- ・継続的な出店誘致、カフェや遊び場設置等の滞在時間延長施策、駅からストリートまでの誘導看板の設置

### ≪市の総合戦略における関連KPI≫

- ・市内にある主要観光地の年間観光客数 4,752千人(H26)⇒6,000千人(H31)